

9/16 五福

憲法守れの願い行動へ



新日本婦人の会会長
笠井貴美代さん

9月に入り、自衛官の妻から「安倍法反対で再び行動したい」とメールが届きました。「PKOでの駆け付け警護」や「安倍政権下での改憲」への女性の反対は、最近の世論調査でもきわだって多く、誰の子どもも殺させたくない、戦争法廃止、憲法守れの願いはさらなる行動へと駆り立て

名を集め、政治を変える共同の一翼を担っています。

「市民と野党の共闘の時代」、これこそ暴走加速の安倍政権を恐れさせています。地域から「戦争も貧困もノー！今こそ憲法を守り、生かそう」「軍事費削減で暮らし・福祉・教育の充実を」と運動し、仲間をたくさんふやして、一刻も早く安倍政権ノックアウトを迫っていきます。

民主主義編む市民共闘



明日の自由を守る若手
弁護士の会共同代表
黒澤いつきさん

安保法制の成立強行という歴史の瞬間に立ち会ってしまったという衝撃は、1年たっても薄れません。憲法に書かれていることを無

めなければなりません。

一方、安倍法強行直後に共産党が「国民連合政府」を提唱し、参院選挙で市民と野党の共闘が実現しました。これが実ったのは市民が声を上げ続けたからです。こうやってデモクラシー（民主主義）が編まれていくのだと本当に感動しました。

視し、政権が自分の執念を優先させることが起きた。この国が近代国家でなくなっていく、法律家として守ろうとしてきた価値が崩れていくことに、強い危機を感じています。いま安倍首相は政権内の最も危険な人物を防衛相に据え、法を発動させようとしています。この動きを止めます。

参院選では、すべての1人区で野党統一候補が立ち、11で勝利できた。これは改憲勢力が衆参議席の3分の2を占めたこと以上に重い。私たちはこの成果を前向きにとらえ、前に進んでいかなければと思っています。

戦争法強行
1年
9-19
各界から